

よくわかるフロー式 図書館を使って Aを取る方法

ぼくはこうして
Aをとりました。
Yくんの手記より



しゅくだい
「ニーチェに
ついて」



ある日のこと。バクゼンノとした
テーマを与える教授がありました。



さて、
まず頭に浮かぶのは、
講義ノートの存在である。
(他人のノートの場合も多い)

KAN PEKI

「これで、もうレポートは
バッチリさ」という人

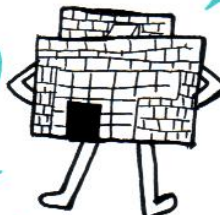


でも、ふつーの人は、ふつーわからない。
(天才とは1%の靈感と99%の汗である)

君は天才である。
もう大学に来なくても
よろしい。



HELP!



そこで、図書館に助けを求めろ君である。
ピンポンピンポン、大正解。

ちもちがうのネ...



でも、
あきらめないうで
蔵書の森へ探検に出る君。
君には天才の素質がある。

まぐ図書館のたもん



サビエンスで
ニーチェの項目を
検索してみると...
ボータイな量に
ポーゼン。

どうしよう